

全校朝会 講話(3.8)

皆さん、おはようございます。

先週は6年生の卒業を祝う会がありました。その前の週は、1年生から5年生までが6年生に感謝の気持ちを伝える6年生を送る会がありました。一日一日、卒業式が近づいていきます。1年生から5年生までも次の学年が近づいていきます。

さて、今週の木曜日は3月11日です。さんてんいちいち、10年前の3月11日には、東日本大震災という大きな地震があり、それが原因でその後に津波、そして火事などがおきました。とても多くの人々が被害を受けました。地震が起きたのは、今皆さんが住んでいる所からはだいぶ遠い東北地方の海の下で起きたのですが、その時はここ東京も、ものすごく揺れたのです。立ってられない揺れを感じました。校長先生は、その時荒川区の別の小学校にいて、体育館にいました。体育館も、ものすごく揺れ、立ってられなくなったので、すぐに座り込んだのを覚えています。そのあと、すぐにテレビをつけたところ、どの番組でも地震の様子を伝える番組に変更していました。そのニュースの中で初めて見たのが、多くの自動車が水につかってふわふわ流されている様子でした。今まで見たことのない様子だったので、何が起きたのかわかりませんでした。だんだん様子が分かっていくと、地震の後の津波で多くの家や車が流されたこと。地震のもとの場所である震源地から遠い、東京でもすべての電車が止まってしまったこと。家に帰ろうとする自動車が大渋滞になっていること。何時間もかけて歩いて家に帰る人の様子がテレビに映されました。学校の子どもたちは、危険なので家の人に来るのを待っていました。多くの先生が学校に泊まることになりました。

今、私は自分の話をしましたが、震源地の近くにいた人の様子が、最近の新聞に載っていたので紹介します。

新聞記事を紹介する

ついこの間の2月13日にも大きな地震があったのを覚えていると思います。地震はいつ起きるかわかりません。そして、地震があった後、どんな状況になっているかわかりません。電気がつかない、電気が来ないと、夜が真っ暗、冷蔵庫の中身が腐る、氷が解ける、水道から水が出なくなってしまうと、トイレが流せない、料理が作れない、など、電気、水、ガス、そして電話、など当たり前に使っていたものが付けなくなることがあります。そうなったらどうしよう、災害があった時の防災用品はしっかりとあるのか、などお家の人とも話をしてみるといいでしょう。今日は、東日本大震災を思い出し、災害に備えようという話をしました。これで校長先生のお話を終わります。